

# 大塚人

## '96-30

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会  
〒810 福岡市中央区六本松1丁目12号1号  
TEL. 092-771-0731 (代表) 直通714-1681  
発行人 原 維宏  
編集人 平島文恵  
<印刷> 福博総合印刷株式会社

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

# 大濠中学校を開校

附属大濠高等学校に併設された附属大濠中学校の開校式および第一回入学式は、四月五日午前十時から、新入生八十九人をはじめ、父母、来賓、本学園係者など約四百人が出席し、附属大濠高等学校第一体育館で挙行された。開校式は、開式の辞、国歌斉唱に続き、川合学校法人福岡大学理事長が「学校法人福岡大学は、附属高校および市民の熱い要望に応え、附属中学校を創設した。六十年というゆとりの中で、大いに学び、体力の限りを尽くして幅広い活動を希求し、たくましく育ってほしい」と式辞を述べた。そして福岡県知事の祝辞、福岡市長祝電披露に続いて中学校設置報告が行われた。中学校の入学式は、近藤校長の新入生へのご挨拶で始まり、同校長が「初心を忘れず努力すること。また、聴く姿勢とメモをとる習慣を身につけてください」と述べた。

来賓を代表して福岡県私立協会会長ならびに石田福岡大学長のお祝いのご挨拶があり、中学校担当教員の紹介、新入生紹介が行われた。最後に校歌が演奏され式は無事に終了しました。

「あいさつ」

同窓会会長  
原 維宏



活、新設され、中高一貫した時代の流れに沿った教育がなされるものと期待しております。同窓会におきましては、支部の数も増え、それぞれに様々な活動がされ、まことにうれしいことと存じます。ただ残念なことは、同窓会活動が全会員にまで浸透していないことです。このたび28年ぶりに同窓会名簿が整備されました。いままで住所が不明だった方の住



大濠高校もやがて創立50周年を目前に控え、今年4月からは大濠中学が約40年ぶりにその形態をかえて復

所もかなり把握できました。これを機に各支部卒回、ごにこの名簿を最大限利用し、学年を越えた交流を図り、エネルギーあふれる同窓会に発展させ、また、唯一の中高一貫男子校として、今後とも皆様のご支援をお願いしたいと思います。

「あいさつ」

中学校校長  
近藤達男



開校以来48年、同窓会員の数は3万名に及ぼうとしている今日、我々大濠にも中学校が開校することになりました。新しい仲間を迎えるとともにその責任の重さに身の引き締まる思いがします。よく、学校と同窓会を車の両輪にたとえられますが、もっと細かに申しますと、同窓会と父兄後援会を両輪にして、その牽引車となるのが学校ではないかと思えます。そのためには私も教職員、事務職員、在校生が一致団結して、天下に双び無き「大濠人」を育成してゆくため、忍び寄る私学の冬の時代を生き抜くため、さらに大濠高校が全国のトップレベルと競い合うため、一人ひとりが牽引車の役を果たすべく、今こそ立ち上がらねばと意を強くしている次第です。同窓会諸兄の、今後益々活躍あらんことを祈念してご挨拶の言葉と致します。

## 同窓会総会・ 懇親会のお知らせ

### 第43回同窓会総会

今年度の同窓会総会、懇親会は平成8年5月18日(土)午後6時から福岡国際ホール(西日本新聞会館16階)で行います。

会費は5千円でパーティー券は、各学年の理事が持っています。なお、パーティー券を前もって購入できなかった方は、当日受付でも販売いたします。

総会では、平成7年度の事業報告及び決算報告を行っています。また平成8年度の事業計画と予算案を審議いたします。

第2部は懇親会を予定しています。美しいコンパニオンの皆さんが勢ぞろいしてお待ちいたします。また、アトラクションも趣向を凝らして楽しんでいただきます。

旧友との久しぶりの再会に話が弾みきつと満足して頂けることと思います。

また、来賓として旧職員・現職の先生方にも、たくさんご参加いただきますので、1人でも多くの会員に出席していただきたいと思ひます。誘いあわせてご参加ください。

## 同窓会名簿のご案内

同窓会名簿が完成しました。大きさはA4版、ページ数は766ページです。1部5千円(送料とも)で販売いたします。購入を希望される方は同窓会室大内田氏(電話、0927141681)へ申し込み下さい。

なお、5月18日(土)の同窓会総会・懇親会の会場でも販売いたします。

今回の名簿は会員数が前回発行時に比べて増加しているのを見やすさを重点に編集しました。たくさんの会員に購入していただき、会員の親睦

## 平成8年度大学入試結果

と同窓会の発展にぜひ活用していただきたいと思ひます。

18歳人口の減少で、「広き門」といわれている大学入試であるが、実際には厳しい現実がある。大濠の生徒が第一志望にかかげる、いわゆる上位校は相変わらず「狭き門」である。

そのような現実の中でみれば、今年の浪人も含めた進学実績はなかなかの好成績であったとみていいだろう。九州大学36名、西南125名は過去最高。防衛大26名は全国一。関関同立137名はもちろん過去最高の数字である。その他、一橋、大阪大、東北、北大、神戸などにも現役の合格者をだした。

主な合格実績は次の通りです。

九州大学36名、九州工業大学26名、熊本大学19名、東京大学1名、大阪大学2名、北海道大学1名、東北大学1名、神戸大学1名、広島大学3名、防衛大26名、福岡大学426名、西南学院大学125名、九州産業大学130名、早稲田大学13名、慶応義塾大学7名、立教大学7名、明治大学27名、法政大学10名、中央大学10名、上智大学5名、東京理科大学12名、同志社大学29名、立命館大学

## 訃報・石橋勝徳先生逝去

60名、関西学院大学17名、関西大学31名

今年二月六日、大濠高等学校国語科の石橋勝徳先生が急逝されました。昨年十一月、検査のために福岡大学筑紫病院に入院、再び教壇に立つこ

となく五十三歳の生涯を終えられました。昭和四十年着任以来、全て真正面から取り組む誠実な人柄は、全ての職員・生徒の敬慕を集め、石橋先生のみならず突然の夭折に全校が深い悲しみに包まれました。

先生は、バレー部の顧問などを歴任、昭和六十三年からは生徒課主事として激務の七年間を終え、やつと念願の担任に復帰できた喜びを告白した矢先の死でありました。石橋先生の

## 編集後記

現世でのご苦労に敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

中学校の開校、古き良き時代を知る諸氏には「大濠中学」の名は懐かしい響きであるかと推察申しあげます。まもなく迎える創立50周年にあたり、同窓会では約20年ぶりに会員名簿を発刊しました。わが母校も新たな時代を迎えようとしています。先輩方が築かれた伝統を踏まえ、やはり我々も「変わらなきや」という心境です。というわけではないのですが、ご覧のように「大濠人」も紙面を刷新いたしました。新聞というより会報という体裁になったかと思ひます。不定型だったものを定型にしましたので、保存には便利かと存

## 大濠つつじ会

大濠つつじ会、早いもので発足以来六度目の総会が平成7年9月9日久留米市で開かれました。会には学校側から長谷前校長先生をはじめ諸先生方、同窓会本部から吉開副会長ほか役員の出席をいただき、同窓生約五十名の参加を得、無事終えることが出来ました。

振り返ってみますと、大濠つつじ会がもつとも盛り上がったのは、母校野球部の甲子園出場の時と思います。寄付金集めは大変でしたが、心よく賛同いただくとともに、暫くのご無沙汰を埋める良い機会でもありました。また、甲子園球場アルプスタンドでの応援では入場行進での「福岡代表、福岡大学附属大濠高等学校」のアナウンスに思わず拍手、胸にこみあげるものを感じました。今後あの感激をもう一度分かち合い、大濠つつじ会の益々の充実をはかりたいと思います。

ガンバレ中野監督！  
フレーフレー野球部！

大濠つつじ会 深町中要

# 支部だより

## 各支部からの報告

会部会部部会  
つつじ支支支  
大濠東鶴支支支  
関舞筑東鶴

## 関東支部

平成7年の関東支部の活動状況を報告いたします。

- (1) 2月8日(水) 関東支部新年会  
ー銀座「銭形」にてー
- (2) 7月26日(水) 関東支部役員会  
ーアートギャラリー「しのぎ」にてー  
・平成7年の活動予定等について協議
- (3) 8月23日(水) 関東支部役員会  
ーアートギャラリー「しのぎ」にてー  
・総会のアウトライン策定について協議

いて協議

- (4) 9月13日(水) 関東支部役員会  
ーアートギャラリー「しのぎ」にてー  
・総会の案内ハガキの発送に関する協議
- (5) 10月11日(水) 関東支部役員会  
ーアートギャラリー「しのぎ」にてー  
・ハガキの回収状況報告  
・欠席者ならびに未回答者への電話作戦による勧誘  
・総会時の備品の確認  
・総会時のタイムスケジュール確認
- (6) 10月21日(土) 第13回関東支部総会  
ー銀座の「中央会館」にてー  
・恩師の野田先生を始め多くの来賓及び関東支部会員約60名の参加をいただきました。

- (7) 11月15日(水) 関東支部役員会  
ーアートギャラリー「しのぎ」にてー  
・第13回関東支部総会の反省会  
・次年度以降の活動方針についての協議
- (8) 2月14日(水) 関東支部役員会  
ーアートギャラリー「しのぎ」にてー  
・平成8年新年会  
・支部役員会の会場が「アートギャラリー「しのぎ」」となっております。ここは、前支部長の篠

# 剣道部 全国制覇!



既に全国に名を馳せて久しい本校剣道部が一昨年に続いて、またしても全国を制覇した。

インターハイの出場は今回で六度目、黒木貞光先生が剣道部の面倒をみられてからも準優勝・ベスト8・優勝と輝かしい戦績を残しているが、今回二回目の優勝でその確かな伝統がうまれた。強豪ひしめく福岡県を勝ち抜いたチームはインターハイ予選リーグ、関西創価、柳井工業を下し、決勝トーナメントにすすんだ。巣鴨商業、三養基を下し準決勝の相手は強豪西大寺。しかし大濠の勢いは止まらず4対1。決勝の和歌山東も4対1と下し、優勝旗を手にした。

また個人戦でも森大樹君が準優勝を勝ちとる快挙をみせた。今や「大濠の剣」は天下無敵である。



# バレー部 全国3位!



合の経過についてご報告します。一回戦、本校はシードで、2回戦からの出場でした。初戦の相手は東京代表の東海大菅生高校で、2-1で勝つたものの会場の雰囲気圧倒されたように本来の実力が出し切れず不本意な試合でした。

バレーボール部は本校創立当初から活動を始め、現在まで四十余年の伝統を持ってあります。現在、部員数十八名と少数ではありますが、監督の大賀先生のもと、日々練習に励んでおります。さて、去る三月二十日から二十六日まで東京代々木国立競技場第一体育館で、第二十七回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会（通称、春高バレー）が開催されました。本校バレーボール部は福岡県の代表として、この大会に初出場しました。過去にも幾度か出場の手

ヤンスはありましたが、あと一步のところで涙をのんできただけに今回の出場は感慨深いものがありました。東京での試

3回戦は埼玉県代表の伊奈学園総合高校が相手。次第に会場の雰囲気にも慣れ、主将の大淵以下、選手たちが本来の力に戻ってきたようで、2-0で勝利をおさめました。続く準々決勝は宮城県代表の東北高校との対戦となりました。この試合も勢いは本校にありました。1セット取られはしたものの、2-1でこの試合にも勝利。熊本県代表の鎮西高校との準決勝にコマを進めました。鎮西高校は今大会の優勝候補で、本校は昨年暮れの九州大会で対戦しましたが力及ばず敗退しました。今回が二回目の対戦でしたが、残念ながら3-0で勝利できませんでした。この結果、本校は第三位となり胸メダルを獲得しました。以上が今回の春高バレーの試合経過

です。しかしこの大会は本校バレーボール部の名を全国的に知らしめる絶好の機会であったと思います。一方で、今後解決していかなくてはならない課題も多くあることを思い知らされました。結果に甘んじることなく、さらに練習を重ねていきたいと思えます。今後ともバレーボール部にご声援宜しくお願い致します。

(副顧問 米谷 純)

## 二人展開催される。

大濠中学・高校と同期（中学・高校一回生）の村上正人氏（雅号・冬光 第2代同窓会会長）と柴田博康氏（雅号・牧雨 大濠高校教諭）、の書展「還暦二人展」が平成7年8月8日、13日、西日本新聞社の後援によって福岡市美術館で開催された。

二人は学生時代、当時大濠の教壇に立たれていた白水谷東先生（故人）に、書芸術の開眼を遂げられ、現在白水先生の遺志を継ぎ、古光書道会を運営されている。その二人が還暦を迎えられ、「二人展」の開催となった。二人の墨痕あざやかな作品にしばしの涼を得た。





## 支部だより

崎邦夫氏（第3回生）が経営されるギャラリーで、閉店後のお疲れのところにもかかわらず気持ち良く財政困難な関東支部のために会場を提供してくださっております。素晴らしい展示品が役員会を常に豪華な雰囲気にとくくれることもあって、ここに集まることを楽しみにしております。在福の方や東京に出られる機会がありましたら是非お立ち寄りください。

（電話03-353557668・アートギャラリー「しのぎ」）

以上のとおりですが、平成7年度は役員各位多忙でなかなか役員会を開催することができず、本部ははじめ多くの方に迷惑をかけてしまいました。しかし総会が盛大に開催されましたので事務局としてはホッとしております。来年は、積極的に役員会を開催し、

新しい企画を次々に打ち出してまいります。今後とも関東支部を宜しくお願いいたします。

関東支部事務局長

原田和慶（13回生）

### 舞鶴会

筑紫野市役所舞鶴会新年会開く  
筑紫野市役所舞鶴会（会長忍田雄三氏9回生）は1月12日（金）午後6時30分から、福岡市中央区大名のセボム大名店で、新年会を開きました。同窓会本部からは吉開・平嶋両副会長が出席し20名の参加があり盛り上がりしました。  
筑紫野市役所鶴友の会員は現在25名です。仕事の面でも会員同士連携しており活発に活動しております。

### 筑紫支部

平成8年3月15日（金）に第7回筑紫支部総会を太宰府市「山賊鍋」で開催しました。今年は何が楽しい総会にしたいと総会の前にボーリング大会を企画しました。事務局も加わって約30名が、午後6時から太宰府Jポールで腕を競いました。7時から30分



会場の「山賊鍋」で総会を開催。長谷前校長、浅田先生をはじめ久留米支部からも友情参加があり、約50名で楽しい一時を過ごしました。参加された皆様方には、この紙上をお借りして心からお礼申し上げます。また来年も楽しい筑紫支部総会を企画したいと役員一同張り切っておりますので、ぜひ一人でも多くのご参加をお願いします。

筑紫支部長 中島 弘道

### 東海支部

同窓会東海支部設立にあたって  
第1回設立総会・平成7年11月25日名古屋観光ホテルにて前高校事務長の平川氏の他、福岡本部、関東支部、関西支部から計7名を迎え、会員21名の出席で発足を開催しました。久しぶりに校歌を歌い楽しみました。

会員は愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、の4県に在住している同窓

（次ページ）



平成7年1月14日、突然襲った大震災に15年目を迎えた関西支部も大きな衝撃を受けました。事務局で被害状況調査を開始しましたが、各地で電話が不通となり交通網も寸断され、正しく陸の孤島でした。それでも同窓生からの相互連絡が徐々に取れ始め、家屋の半壊や家内の混乱はありませんでしたが、ほぼ会員の安否が確認され、皆で無事を喜び合いました。

本部を始め多方面から安否の問い合わせが事務所にあり、皆様の暖かい心遣いに胸に迫るものがありました。大濠人で「関西支部の仲間」に「義援金を」の呼び掛けがあり、本部の役員の皆様を先頭に心暖まる多額の義援金が寄せられ、そのご厚志に報いるべく再三の役員会を開催、義援金は神戸在住者とし、特に役員等同窓会の協力者（年会費納入者）優先として神戸会員32名の皆様に送らせて頂きました。

7月に15回総会が開催され長谷前校長先生、原会長、斉藤関東支部長、有信会の方々の来賓を迎えた席上、重本支部長より、この度の義援金の謝辞があり、事務局よりその決算報告を行いました。被災地の皆様から寄せられたお礼の手紙やハガキを当日会場に掲示し、その当時の状況や大濠人の温かさが、ひしひしと伝わって来て感動を呼びました。震災から早1年、JRや私鉄線や新幹線も復旧し「ガンバロー神戸」のもと、力強い復興への槌音が聞こえ、私共にもようやく笑顔が見られるようになりました。義援金を受けられた中には半数以上の方がまだ一度も同窓会に顔を見せておられません、この善意がその人達にとつて一つの糸

# 阪神大震災の その後

## 関西支部報告

口となり、関西支部の新しい1ページが開かれることを期待する次第です。「転災為福」天から授けられた試練に耐えて大濠人の暖かさや幸せを感じた1年でした。明けて今年「子年」。ねずみには古来より「福の神」、「大黒天の使者」という、おめでたいイメージがあります。厳しい時代を乗り越えて素晴らしい年になりますよう願うと共に関西の大濠人はまさに今「走らんか」です。

### 「支部活動状況」

- 95、4月土曜サロン (ホテルコンソルト)
  - 6月土曜サロン (ホテルコンソルト)
  - 7月第15回支部総会 (大阪弥生会館)
  - 10月土曜サロン (ホテルコンソルト)
  - 11月紅葉狩り (箕面公園)
  - 12月忘年会 (がんこ寿司)
  - 2月新年会 (寿扇)
- 事務局変更 西川信義 (10回卒)  
電話 06 (949) 3291  
FAX 06 (949) 3290

前略  
このたびは震災の地域に住んでい  
るという事で、同窓生の方より、お見舞  
をいただき、ありがとうございます。  
阪神間には住んでいない同窓生の皆様も  
たくさんお形で被害をお受けたこと  
も思っています。健康に留意して、早  
時期での立ち上がりをお祈りしてい  
ます。  
このたびは、本当に、ありがとうございます。  
ごさいます。同窓生の方からも  
いろいろ宜しくお伝え下さい。  
80/6

米澤  
(13回卒)

## 被災地の 同窓生からの手紙